

愛知県高校生訪問団バンコク派遣事業報告書

愛知県立中村高等学校 山田咲穂

今回の派遣事業を通して沢山のひとと出会いました。

また、色々な経験もしました。タイに行く前と行った後の印象も大きく変わりました。



タイの食べ物

タイに行く前の印象

食事をするときはスプーンとフォークを使う。

香辛料が沢山入っており、辛い食べ物が多い。

主食はタイ米。

フルーツが沢山売られている。

タイに行って分かったこと

レストランでは箸がもらえるところもある。

辛い食べ物が多いが辛くない食べ物も沢山ある。

主食はタイ米だが、もち米が出てくるレストランやタイのラーメンもある。

沢山の種類のフルーツが低価格で売られている。

デザートには大抵ココナッツが入っている。



交通手段・交通ルールについて

バスでの移動のときは必ず外を見るようにしました。

交通手段や交通ルールが一番日本との違いを感じました。

トゥクトゥク

トゥクトゥクはタイでの交通手段としてとても有名です。

トゥクトゥクでも色んな形があります。



実際に乗りましたが、車高がとても低くて地面が近く感じました。



バイク・タクシー

タイではバイクの交通量が多いことを感じました。

バイクのタクシーがあることも気づきました。スカートをはいている



女性までも足を揃えて横向きでバイクのタクシーに乗っていました。車の形のタクシーも沢山ありました。全てのタクシーが黄色や緑・水色・ピンク色でとても派手でした。



タイの交通ルール

タイではヘルメットをしないでバイクを運転している人が多くて2人乗り、3人乗り更には4人乗りをしている人もいて驚きました。

車のルールは青いライトをつけてはいけないそうです。

バイクに大人数で乗ることは注意されないのに、青いライトには注意されることに不思議に思いました。

信号機について

信号機は都会にしかなく、ほとんどないことがわかりました。

運転手もなかなか止まってくれないので道路をわたるときはとても危険です。



ホームステイ先について

私のホームステイ先は3人家族でした。

私のことを一番に考えてくれるとても優しくて穏やかな家族でした。

私がマーケットに行きたいと伝えたら沢山のマーケットに連れて行ってくれました。

ナイトマーケット



メークローン市場

このマーケットは夜にしかお店が出ないそうです。理由として昼は暑いからだそうです。ここでは服や小物、食べ物が屋台で売っており、いくつかレストランもあります。レストランではバンド演奏をしていました。

線路いっぱい商品やテントが広がっていました。服はほとんど売っておらず、魚や野菜が多かったです。電車を通らすためのテントの開け閉めの作業は素早く見て面白かったです。



水上マーケット

私が行った水上マーケットは船ではご飯が食べられるようになっていて、お土産は川の横にあって歩いて買い物をするスタイルでした。川と道との間に柵がなく道が狭いため、落ちてしまいそうで怖かったです。



タイのお買い物事情

タイではショッピングセンターはバンコクの栄えているところにし
がなく、ほとんどがマーケットでした。また、マーケットの方が物の値段が安く感じ
ました。

タイの人は買い物をするときにはいつも値下げ交渉をします。大抵のお店は値下げをし

てくれます。値下げ交渉していないのに値下げをしてくれる人もい
ました。そのような点でタイの人の優しさを感じました。

値下げはマーケットではしてくれますが、ショッピングセンターで
はしてくれないことが分かりました。



タイは発展途上国？ タイの環境問題とその解決策

空港やホテル、ホテル周辺を見ると本当に発展途上国なのか？と疑ってしまうくらい綺麗でした。しかし、ホームステイで一歩外に出てみると川の水が汚かったり、ホテルのシャワーの水が少し臭ったりして、環境問題やあまりの貧富の差に驚きました。

そのような環境問題の解決策としてみられたのがマーケットのトイレです。バンコクの栄えているところのトイレはトイレットペーパーがあつたり無料で使えたりします。しかし、少し離れたところだとトイレットペーパーを使用してはいけなかったりトイレットペーパーを使うためあるいはトイレを使うためのお金を払わなければいけませんでした。

ホテルの様子



マーケットのトイレ

最後に

タイ語が分からなかったり、タイについてよく知らなかったり、更にはタイに行くメンバーが初対面だったり、タイに行くのが初めてな私にとってとても不安や戸惑いがありました。しかしその分、多くのことを学びました。他の高校にどんなことも一緒に楽しむ友達ができ、タイでもいい人たちと出会えることができました。タイでは日本とは文化が全然違うけれど、そこが一番面白いところだと思いました。この七日間、とてもいい経験ができました。今後はその経験を沢山のの人に伝え、もっと国際交流に積極的に参加していきたいと思います。今回の派遣事業での思い出は一生忘れません。

本当にありがとうございました。



Aichi-Bangkok High School Student Exchange Program 2018

愛知県立 瀬戸西高等学校 杉本明紀

Day1

私は、今回の派遣事業が初めての海外経験でした。

とても不安で緊張していましたが、仲間と話しているうちに不安と緊張が薄れ、色々なことを学び将来につなげられるように頑張ろうと思いました。

タイに到着したときまず交通にびっくりしました。

バイクは 2 人乗りが当たり前な感じで、車は車間が狭くても入って



いくけどクラクションはほぼ鳴ってないし日本で見たことがない交通マナーでした。また日本の車が多くあらためて親日国だと思いました。

道路を走っていると見渡す限りに大きな看板があったり、タイの国旗が立っていて日本にはない道路で面白かったです。

サイアムニラミットではタイの歴史を楽しく学べ、ゾウにも触れ合うことができタイのことについて色々知ることができました。



大きなステージでやるショーは私の想像をはるかに超える迫力でした。

DAY2

エメラルド寺院は、世界遺産ということで入口には警備の方がいて驚きました。建物すべてがきれいで、広くて圧倒されました。



また、高校生との交流ではタイについて教えてくれタイ語で私の名前を書いてくれて嬉しかったです。

次の副知事表敬では、会場が豪華なところで何とも言えない緊張感が漂いました。お話を聞くにつれて愛知県とタイの歴史は長いことが分かりました。



次にアジアティークに行きました。夜ごはんはしゃぶしゃぶを食べ



ましたが日本の味そっくりで美味しかったです。日本の名前のご飯屋が多く、また店の前を通ると日本語で「こんにちは」と話しかけ

られました。

DAY3

高校訪問では、バスの中でとても緊張してたけど校門からたくさんの生徒がタイの音楽で私たちを歓迎してくれて一気に緊張がほぐれました。しっかりコミュニケーションがとれるか心配だったけど、

ジェスチャーも交えてお話しできたので良かったです。タイの伝統舞踊やムエタイたくさんのタイの文化に触れることができ私たちも



日本の折り紙を教えることができお互いの文化を伝えることができとても貴重な時間となりました。タイの文化を自分の肌で感じることができ印象深い日になりました。

この日の夕食は「歓迎夕食パーティー」でした。私は代表のあいさつをしました。緊張していましたが笑顔で聞いてくれて明日からの



ホームステイがより楽しみになりました。



DAY4~5 HOME STAY



私のホストファミリーは全員で 15 人ぐらいてとても賑やかでした。1 日目の午前中はノンヌックガーデンと Pattaya に行きました。私が乗り



たかったゾウに乗ることができとても幸せでした。昼食では色々な種類のタイ料理を食べることができどんどんタイに染まっていきました。夜は Huamum Market に



いきました。「お水はいる?」「これ食べる?」など気遣いしてくれてとても親切だと思いました。屋台は独特なおいがしました。私が知らないところでお土産を買ってくれてとてもうれしかったです。



2 日目の朝食はタイのマックに行ってきました。

日本とメニューは少し違っていておじやなどがありました。ハンバーガーの味は日本と変わらず美

味しかったです。そのあとはお土産を買いに連れて行ってもらいました。お勧めのお土産を聞くとやはり「ヤードム」と言われました。



帰る前に日本のものやお菓子をあげました。美味しいと言って食べてくれました。私のホストマザーとファザーには子どもがいないので「私の娘よ」と言って可愛がってもらいました。現地の人と過ごす2泊3日はとても濃いものとなりました。



DAY6

大学訪問では、私は、看護志望なのでとても勉強になりました。海外の病院は日本と全く違って驚きました。自分が看護師になったらもっとこうしてあげたい、ここを改善してより過ごしやすい環境を作ってあげたいなど考えさせられることがたくさんありました。また、今回の訪問のおかげで新たな夢を見つけることができました。



DAT では日本人のために昼食に日本食が用意されているのが驚きでした。ロボットがたくさん普及されていました。日本の会社なので始まる前の「起立、気をつけ、礼」をしていると聞いて私は日本の文化を取り入れてくれていてとてもうれしい気持ちになりました

LASTLY

この派遣事業を通して人々の温かさやタイのよさを知ることができました。また文化に触れることができました。また英語でのコミュニケーションの取り方など様々なことを学ぶこともできました。言いたいことが言えなかったり、言っていることが理解できなかったりまだまだだと実感しました。それ以上にもっと英語の勉強を頑張ろうと思うことができました。この経験で学んだことをこれからの人生に活かしていけるようこれからも努力し続けていきたいです。そして、ホストファミリーや高校生のバディーの子達とのつながりが途絶えてしまうことがないようにしたいです。



END

愛知県&バンコク都 高校生交流事業 2018 報告書

Aichi&Bangkok High School Student Exchange Program 2018 Report

愛知県立尾北高等学校 坂野徳秀

Norihide Banno (Aichi Prefectural Bihoku High School)

《8月1日》

中部国際空港から約6時間かけて、スワンナプーム空港に到着しました。入国手続きでは英語で何かを聞かれると思っていたのですが、パスポートと航空券を見せるだけで終わりました。これは僕が子どもだからかもしれませんが、日本のパスポートの信頼が高いからかもしれません。その後、空港を出て夕食を食べにバスで道を進んでいると車の隙間をスイスイと器用に抜かずバイクの集団を発見しました。信号



待ちの際には先頭を占領していて日本ではなかなか見られない光景に唖然しました。しばらくすると夕食とパフォーマンスを観る“サイアムニラミット”に到着し、夕食とパフォーマンスを鑑賞しました。パフォーマンスに関しては、すごくクオリティが高く終始見入ってしまいました。

《8月2日》

まず“エメラルド寺院”を訪問しました。ここはタイでも特に有名な観光地で、建物全体が金色や小さい鏡のようなものがびっしりで埋められており、凄く豪華でキラキラしていました。ここでは現地の高校生と一緒に行動して、片言な日本語や英語を駆使して話しかけてくれてタイで初めての友達ができただけの瞬間です。

そのあとは “サイアム博物館” を訪問しました。そこにはタイの歴史や文化をそれぞれの部屋に行き学ぶことができ、レコーダーで日本語の説明を聞くこともできました。



昼食を食べ、“バンコク都庁” を訪問しました。そこでは、国際監の近藤さんとバンコク都知事代理の方が通訳を通して会談していました。まるでテレビの中にいるようで緊張しましたが、代理の方が和



ましてくれて少しリラックスできました。この体験は普通の高校生ではなかなか体験できない事なので凄く良い体験になりました。最後に夕食と買い物をして “ア

ジアティーク” に行きました。そこまでに行く際、なんとバンコクの警察のフェリーを貸し切ってまさにVIP対応でした。アジアティークではタイ初の日本食のしゃぶしゃぶを食べて、あまりにも雰囲気は日本だったので、思わず店員さんに「すみません！」と日本語で呼んでしまいました。



《8月3日》

“マッタヨム・ワットスッターラーム高校”を訪問しました。高校に着くとまず驚いたのが、大勢の生徒が僕たちのためにタイと日本の旗を振って出迎えてくれていたのです。そしてホールのような所で、ダンスや歌で楽しんだり、折り紙などを教えたりしました。



外でもムエタイと言ってタイの格闘技を体験したりと、半日と短い



間でしたが、充実しました。お別れをする時に半日ずっと付き添ってくれたバディの2人が号泣してくれて、タイの方の温かさを身に沁みました。

午後からは、“サイアムスクエア”を散策しました。そこはまるで日本の渋谷、原宿の様な所で何から

何までそろっていました。そこでも2日目にあった現地の高校生が案内してくれて仲も深まりました。



右上：タイダンスの最中

左真ん中：ムエタイ&バディ2人

右下：サイアムスクエア(スーパー)

《8月4日》《8月5日》

この2日間は、ホームステイでした。僕はナーリーラット・パークプーム家と僕のホストマザーの妹で澤口さんのホストファミリーのスパリック・シリチャールクン家と二方のホストファミリーの友達のタイの日本大使館に勤める久美子さんと一緒に過ごしました。

1日目は、水上マーケットに連れて行ってくれました。水上マーケットでは様々なものが売られており、観光客も大勢いて、車でも船でも渋滞を味わうことになりました。午後にはゾウに乗りました。ゾウの上は思っていたよりも安定していて、時々傾くのがスリル満点で楽しかったです。ゾウ乗りのおじさんにお話を聞くとゾウ乗り歴10年で超ベテランでした。そして気になっていた、アフリカゾウには乗れますか？の質問に対し、



答えはNOでした。アフリカゾウの方が耳が大きく気性が荒いみたいです。夕方には Amphawa という、僕が最初に行った水上マーケットとは違う所に行きました。前の水上マーケットとの違いは、前は川の脇に川を向いて店がありましたが、Amphawa では川周辺が市場になっています。そこでは夜



の水上マーケットを楽しんだり、タイの蛍を見ることができました。日本と違ってチカチカと光っていました。



2日目は早起きをし、昨日行った Amphawa に行き、毎朝川を小舟で下ってくる、僧侶さんに食べ物と花をあげにいきました。船にはぎゅうぎゅうにみんなから貰った食べ物や花が積まれており、タイの仏教への信仰度が分かりました。その食べ物は僧侶さん達だけではとても食べきれないので、貧しい人々などに配られるそうです。その後、みんなで猛ダッシュをして、テレビで見たことがある人もい



ると思いますが、市場に電車が通る市場に行きました。なんとか時間に間に合っへトヘトながらも貴重な電車が通る様子を見ることができました。その後は、タイとミャンマーが戦争したときの様子がみられる所や願いを金粉にこめて仏様に貼るお寺に行きました。午後にはタイで一番で大きいマーケットに行きました。そこは全部まわるには1日かかるそうで僕たちは外側を一周しました。



た。何十種類もの店があり、中にある通路を通ると地図を持っていなければ、100%迷うであろう大迷路が広がっていました。最後に集合場所のホテルにはバンコクの電車で向かいました。バンコクの駅には時刻表がなく電車は何分かの間隔で来るそうで時間に厳しい日本ではありえないなと思いました。

《8月6日》

タイ滞在最終日はまず“ナワミンタラーティラート大学”を訪問しました。この大学は主に看護系や医療系が学べて、医療技術が凄いいわれるタイならではの大学でした。この大学の特徴は前王様が建てた大学で病院でもありました。



午後には大和化成の工場に行くべく、バンコクから少し離れたプラチンブリ工場に行きました。そこでは日本人の社員の方が工場内を案内してくださり、日本の工場ならではの精密さ、正確さなどを見ることができました。

《8月7日》

タイ時刻 00:25 スワンナプーム空港発

日本時刻 8:00 中部国際空港着



《最後に》

今回の派遣事業を通して、タイの人、建物、文化、食べ物などをたくさん見られて、タイにもう一度行きたくなりました。友達もたくさんできてお世話になった全ての方に感謝します。そしてなによりも英語の大切さが身に沁みこれからも頑張ろうと思いました。こんな素晴らしい機会を与えてくださった愛知県様とバンコク都様、本当にありがとうございました。この経験を忘れずにたくさんの人と共有したいと思います。

Aichi-Bangkok High School Student Exchange Program 2018 Report

一宮西高等学校 西 胡桃

Day1

はじめての海外。はじめてのタイ。現地の空港に着くと周りは外国人ばかりで、タイ語で書かれている看板や標識を見て、何が書いてあるんだろうと、考えながらバスでの時間を過ごしていました。初日はサイアムニラミットでショーの鑑賞でした。



<Siam Niramit>

古代のタイ王国の話がテーマで演出・衣装・舞台装置・音楽に工夫がたくさん施してあり、とても楽しかったです！ショーの途中、ゾウが出てきた時は驚きました！また、タイに着いてからここで夕食を食べました。バイキング形式だったのですが、料理の名前が

分からないので、友達と見た目でおもしろそうなものを選んで食べました(笑)。

Day2

観光地として有名なワット・プラ・ケオ寺院に行きました。私の想像していた以上に広く、豪華でキラキラ光っている建物ばかりで、とても印象に残っています。たくさんの観光客が訪れていて、中には日本人も何人か見かけました。



次に、サイアム博物館に行きました。日本にもあるような映像での解説が多く、コンピューターを使った体験型のコーナーもあったので、タイの文化、伝統を学ぶことができました。その後、昼食をとり、チャオプラヤ川のクルーズに！！高層の建物がずらりと立ち並んでいました。

<Emerald Buddha Temple>

またバンコク都副知事に訪問団でご挨拶をしに行きました。豪華な内装でとても緊張していましたが、私たちの派遣にずっと付き添ってくれている係の方が緊張をほぐしてくれました。私は高校生訪問団の代表として、挨拶をしました。ぎこちないタイ語と上手ではない英語のスピーチを聞いてくれて、拍手をもらえてとても



うれしかったです。すてきなゾウのついているかばんをもらいました。

Day3

タイでの生活や景色が見慣れてきた3日目。マッタヨム・ワットスッターラーム高校を訪れました。着くとすぐにあたたかい歓迎をしていただき、タイの文化、音楽、伝統を楽しみながら学ぶ貴重な機会になりました。私たちの出し物として、みんなで折り紙をしました。苦戦しながらも一生懸命に折り鶴を作ってくれました。2人の優しくてかわいいバディがずっとそばでいろいろ教えてくれました。抹茶のお菓子を渡したとき、すごく喜んでくれてうれしかったです。また2人からプレゼントをもらえました。バディの1人の子が日本語クラス所属の子で、放送部でこの日の写真をたくさんカメラに収めていました。その時に日本とタイの似ているところと違うところをインタビューされました。タイの人が「サワディーカー！」（こんにちは）などとあいさつをするときに手を合わせる行為と私たち日本人がご飯を食べるときに「いただきます」と手を合わせる行為は、どちらも感謝の気持ちが込められているように感じたので似ているなどと思い、インタビューでもそう言いました。一緒にいたのはとても短い時間でしたが、すてきな友達ができて本当に楽しい時間でした！！



Day4・5・6

私がこの派遣で一番楽しみに、かつ一番不安に思っていたプログラム！はじめてのホームステイです！ホストファミリーとちゃんと話せるか、前日の夕食会からとても緊張していました。でも、優しい笑顔で微笑んでくれたり、私の分まで運んでくれたり、親切に接してもらったので、私の緊張はほとんどなくなりました。食事後、ホストファミリーはチャイナタウンに連れてってくれました。またそこでトゥクトゥクに乗りました。思っていたよりずっと速いスピードで、びっくりしましたが、気持ちよかったです。日本ではもう夜中過ぎの頃に食べたパイヤが意外にもおいしくてけっこうたくさん食べてしまいました(笑)。



翌日、私は動物園に連れて行ってもらいました。ここで私はゾウの背中に乗ることができました！！乗ったまま園内を散歩しました。さらに、ワニのショーとゾウのショーを見ました。ワニを操る人の危ない行動にひやひやさせられたり、ゾウ同士が戦う姿に驚かされたりと、どちらも迫力があってとても面白かったです。ゾウのショーが終了後、えさをあげに行くとき

に、ゾウとのツーショット写真をたくさん撮ってくれました。

夕方には、水上マーケットに行きました。屋台の食べ物がたくさん並べられていて、多くの人でにぎわっていました。夜になると、小舟に乗って、ホテルを見に行きました。暗い茂みの中にキラキラと輝くホテルはとてもきれいでした。2日目でもうすっかりタイ人の気分になりました。最終日は寺院に行ったり、池でボートをこいだりと、ゆっくり過ごしていました。お昼を最後一緒に食べに行ったところが、東京の新宿にあるお店だそうで、びっくりしました。また、日本へのお土産をホストファミリーと一緒に考えてくれました。その際に行ったスーパーには、日本のお菓子はもちろん、他の外国の製品がたくさんありました。



約3日間のホームステイでたくさんの人との出会い・交流がありました。私は流暢に英語を話すことができませんでしたが、ホストファミリーがゆっくり話してくれたり、ジェスチャーをつけてくれたりしたおかげで、たくさん会話をすることができたんじゃないかなと思います。濃い時間を過ごすことができました！！

Day7

タイ派遣最終日は、バンコク都にある大学と大和化成タイランドの工場を訪問しました。大学の滞在時間は短かったですが、医療で使う道具や、それらを使って練習を行う部屋の見学をさせていただきました。工場見学では、現地で働

く日本人のお話が聞けてよかったです。異なる地域で暮らしてきた人達と仕事を一緒にすることの大変さ・楽しさを知ることができました。

SUMMARY through these activities

この1週間、日本で学校に行っているだけでは学べない、たくさんの方をこの派遣を通してでなければ会うことのなかった友達とともに、実際に体験をして学ぶことができ、本当によかったです！お店に行ったとき、「クーポンカー」（ありがとう）と手を合わせて言ったとき、誰でも微笑みかけてくれて、“微笑みの国”という名前の通りだと、強く感じました。タイで過ごした時間は私にとって貴重な経験となりました。この派遣を支えてくれた方々、仲間感謝しかないです！！本当にありがとうございました！！



愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業

Aichi - Bangkok High School Students Exchange Program

愛知県立津島高等学校 1年 後藤 駿介

はじめに

私は、今回の派遣事業で様々なことを学び、自分の将来や今後の生活について思いを馳せるきっかけを作ることが出来ました。また、私は「英語力の向上」と「タイで使われている英語」について気づきを増やすことを目標に本派遣事業に参加させていただきました。確かに帰国した今、2つの目標は達成できているような実感を得ています。

Day 1 ・セントレア出発

・サイアムニラミット訪問

この一週間を派遣に参加できることが決まってから首を長くして待っていました。空港への道中で、空港の管制塔が見え、「空港に来た」という実感と共に、果たして一週間無事に過ごせるだろうかという不安や、タイってどんなところなのだろうという関心と興奮が沸き立っていたことを覚えています。



高ぶる気持ちが焦りを生み、集合時間の30分前に空港に到着してしまい、誰も居ないという状況に更に不安を感じてしまいましたが、あとから来た先輩の「楽しみだけど不安」という言葉にとても共感し、安心しました。

タイへ到着すると、まず感じたことは意外にも涼しいことです。今年の日本は、記録に残る猛暑だったため、「タイが避暑地」という感覚に襲われました。搭乗ゲートをくぐると、タイ人の空港のスタッフの方が私達を案内してくださいました。まるで要人かのような対応に、とても驚きました。タイ人は人をおもてなしすることが好き、ということの後から聞き納得しました。タイの空港内では、当たり前ですがタイ語がたくさん書かれていて、「外国に来た」ということを実感出来ました。



この写真は、その後向かった大型ショッピングモールのマクドナルドの前に立っていた、合掌をしているロナルドです。日本では見る事が出来ないものにとても興奮を感じました。また、このショッピングモールは7階建てだったのですが、そのうちの1階はほとんど日本食レストランだったことも印象的でした。私はとても大きいと感じましたが、現地人のガイドさんに聞いたところ、「全然大きくないよ」とおっしゃっていてとてもびっくりしました。

その後、サイアムニラミットへ行き、夕食をとったあとパフォーマンス鑑賞をしました。私はこのパフォーマンス鑑賞がタイで最も深く刻まれた印象の中の一つとなりました。なぜなら、1500人近くの前でステージに立つことが出来たからです。このような、演劇施設絡みでも私達を歓迎していただけていることを感じ、とても親身的だと感じました。

Day 2 ・エメラルド寺院、王宮訪問

・バンコク都庁 表敬訪問

・サイアム博物館見学

・アジアティーク訪問

タイでの生活に、まだ慣れないまま2日目を迎えました。この日は、上記の通りとても訪問先や見学先が多くとても疲れましたが、ゆく先々で楽しむことや学ぶことが多く、有意義な時間を過ごすことが出来たと感じています。

最初に、バンコクに遷都されたことに合わせ建設されたというタイで最も格式の高い、エメラルド寺院を訪問しました。バスを降り、寺院までの道のりが長かったのですが、その寺院の独特な建築物をすぐに発見することが出来ました。すべての建築物の役割や、名前を知ることは出来ませんでした、その雰囲気だけでものすごく圧倒されました。



次に、サイアム博物館へ見学に行きました。エメラルド寺院からバスで行くには近すぎるため徒歩で行ったのですが、やはり道のりが長く、着く頃にはみんな息が上がっていたのを覚えています。この博物館では「タイらしさ」について様々なものが展示されていました。先程の寺院の建築物も「タイらしい」という言葉で片付けてしまうことが出来るものですが、果たして「タイらしい」とはどういうものなのかについて博物館で見学することが出来ました。左の写真は、その一例です。

その後バンコク都庁へ向かい表敬訪問をしました。初めて目の前にした、同時通訳者の方やタイを代表する方にとっても圧倒されました。タイ語で自己紹介をする際に、少し間違えてしまいましたが、タイの方は微笑んでくれ、とても心が救われました。

最後にアジアティークを訪問したのですが、その交通手段が川を下るボートでした。はじめての体験にとっても興奮しました。アジアティークは観光客向けで、アジアの雑貨やお土産などを取り扱っているマーケットです。夕食もそこでとったのですが、そのメニューがしゃぶしゃぶでした。タイに来てしゃぶしゃぶを食べる気持ちはとても複雑でしたが、美味しかったので満足でした。



Day 3 ・マッタヨム・ワットスッターラーム高校 活動

・サイアムスクエア視察

・ホストファミリー面会



この日は、タイの高校「マッタヨム・ワットスッターラーム高校」へ訪問しました。実際にタイ人とじっくり話せる初の機会だったことから、とてもわくわくしていました。学校へ着くと、校門で楽器の音と共に列を作って歓迎してください、首に歓迎のしるしとしてタイの伝統的な花輪を



かけていただきました。右の写真は、タイ最大級の祭りである「ロイ（流す）クラトン（灯籠）祭り」で使用される灯籠です。実際にこの灯籠を作る体験をしました。私も私のバディーもなかなか言語が通じない中ジェスチャーなどを通して製作することの難しさを感じました。作った灯籠を実際に流すことは出来ないの小さなプールに浮かべました。次に、タイの伝統的な舞踊を実際に踊って学び



ました。盆踊りのようだけど手の動きがとても複雑で最後まできれいに踊ることができませんでした。

次に、タイボクシングを学びました。タイの高校にはタイボクシング部というものがあるそうです。部活の顧問と生徒さんに実際に私もグローブをつけて教えてもらいました。キックの動作もあるので、最初はとてもぎこちなかったですが、最後はほめていただけてとても嬉しかったです。その後昼食を取りました。この昼食が、タイではじめてのトムヤムクンとの出会いとなり、最初に出てきたときにとっても身構えてしまいましたが、実際に食べてみると意外と食べられることがわかりました。最後に日本の文化を伝える活動で、折り紙をバディーの人に教えてあげました。英語を使って説明していたら校長先生に「バディーの子達に日本語で教えてあげて」と言われてとてもびっくりしました。英語よりも日本語の方がすんなり理解してくれました。時間内に折ることが出来なくて、少したじたじしてしまいましたが先輩が手伝ってくださって、なんとか折り紙をプレゼントすることが出来ました。ここまでとても短い時間でものすごく中身の濃い活動が出来て、とても嬉しかったです。ついに別れのときが来てしまい、バディーを含めたタイの高校生の方が全員泣いていてとても驚きました。たったこれだけの時間でも、本当に私達をもてなしてこの時間を大切に過ごしていただいたことを感じました。



その後、サイアムスクエアへ行きました。サイアムスクエアとは、日本でいう原宿や渋谷などの若者のファッションの最先端をゆく商業施設が集まった地域のことで、ものすごい数のショップがありました。サイアムスクエアの横にあった屋台で売られていたマンゴージュースが本当に美味しかったです。



この日の最後にこれから3日間お世話になるホストマザーとの面会がありました。一緒に夕食をとったのですが、本当にとっても優しく、なにかと話題を作って話かけてくれたり、なにか困っているとすぐに手を差し伸べてくれたりと手厚い歓迎にとっても感激しました。タイの道路はどこも非常に混んでいるので、通常なら30分でホストファミリーの家につくのが1時間30分もかかってしまい疲れから初日はあまり喋れずにそのまま寝込んでしまいました。

Day 4 Day5 ・ホームステイ

この2日間は、ホストファミリーのおかげで本当に充実していたし、タイについて最もいろんなことを知ることが出来た時間となりました。本当に感謝しています。

初日はビーチへ行きました。前日にビーチへ行くことと朝が早いから早く寝たほうがいいということと言われ、どのぐらいの遠さなのかと調べていたら、200km以上も遠くにあるビーチへ行くということを当日の朝に知りとてもびっくりしました。約4時間をかけてビーチへ行きました。そのビーチへの途中で退役した空母を見学しました。はじめて空母の甲板の上に立ち、その広さと大きさに圧倒されました。ビーチへつき、そこで昼食を軽くとってから海に入り泳ぎました。今年はプールや海に授業以外で行く機会がなかったので、とても興奮しました。ですがなぜかタイの人々は岸からとても近いところで泳いでいました。その理由を聞くと、下がほとんど砂ではなく岩で出来ているので足がついても痛くてなかなか遠くまで危なくていけないということでした。遠くまでいきたかったのですが、そこも日本とタイの違いだと割り切りました。だいぶ疲



れてきて、お腹も空いてきたので帰ることにしました。夕食として、帰路の道中に海産物で有名な街へ行きそこで海鮮料理をいただきました。口に合うものも合わないものもありましたが、総合的に美味しかったです。タイでは飲食物を残すことが失礼とされていないので、もし食べられないものがあれば無理をしなくてもよいということになっていました。タイ料理が少し苦手な私にとっては少し安心に繋がりました。



次の日は、寺院とクレット島、チャトゥチャック・ウィークエンド・マーケットへ行きました。タイはご存知の通り仏教国で、仏教を強く信仰しています。寺院では、僧にお菓子などの食品を捧げました。私はよくわからなかったの見様見まねでホストマザーのやっていることと同じことをしていましたが、タイの人々にとってはとても意味のあることだということを強く感じました。その後クレット島へ行きました。島とつくからは海の中にぽつんと佇んでいるものを想像するかもしれませんが、全方向を川に囲まれている島なのです。もちろん渡河を伴いましたが、あまり島にいるという実感はありませんでした。クレット島にも寺院があり、その寺院で自分の誕生月に合わせたろうそくを水の上に浮かべることやお米を並んでいるつぼに入れる、豊作を願う儀式など様々な仏教体験をしました。またその島には、たくさんの屋台がありとても狭くて長い商店街のようなところを歩きました。タイでは石鹸が有名ということで、石鹸を購入しました。島を出て、マーケットへ向かう途中にふと車のエアコンの調節つまみを見てとても驚きました。タイの一般車には暖房という概念が存在しないのです。すべて青で、あくまでそれは冷房の効きの良さを調節するものだったのです。3日間移動手段はすべて車だったのにとっても身近なところにある違いにとっても驚きました。



マーケットに着くとその広さと、いい意味でのごちゃごちゃ具合に驚きました。ショッピングモールのようなものもあったのですが、そこを出るととても狭い道を挟んでたくさんの店が連なっているのです。探していた商品を見つけるのにとっても手間取ってしまいましたがいろいろな店を見て回り吟味することが出来てよかったです。その後、併設されている施設の中にあるカフェでご飯を食べました。一見洋食のように見えるガーリックオムライスのようなものを食べましたが、これもタイ料理の一つだったようです。タイ料理といえば辛い酸っぱい甘いが一度に来るととても複雑なものというイメージがありましたが、そのイメージは覆されました。飲み物は日本への恋しさから抹茶味を選んでしまいましたが、やっぱり抹茶は美味しかったです。

集合場所であるホテルへホストファミリーと向かっている途中に、この3日間のことがたくさん蘇ってきてとても寂寥感で心がいっぱいになりました。ホテルについてもなかなかファミリーが帰りたがらずに、近くのスーパーマーケットで時間の許す限り一緒にお土産を選ぶなどして過ごしました。最後の最後まで、私と一緒に居てくれることにとっても感謝の気持ちでいっぱいになりました。



ホストファミリーに感謝を告げ別れた後に、派遣団全員で夕食のステーキを食べに行きました。ガッツリした食事に少し飢えていたころなのでとても美味しく感じました。また同じ席の先輩の進路の話や、高校の話聞くことが出来て少し自分の進路の視野が広がりました。

Day 6 ・ナワミンタラーティラート大学訪問

・大和化成工業タイランド訪問

・メガバンナー ショッピングモール散策 ・ 出国

タイで過ごすのもこれが最終日となってしまいました。最初にナワミンタラーティラート大学の医学部を訪問しました。到着した施設の中で大学の紹介ビデオを見たのですが、見た会議室がいまからサミットでも行われるかのような雰囲気でもとても緊張してしまいました。



その後またバスに乗り大学病院に着きました。その病院の奥へ行くと、研究室のような顕微鏡がたくさん並んでいる部屋や、たくさんの人体模型やAEDの講習に使うマネキンがある講習室などを見学しました。どれもはじめて見るようなものばかりで少し気持ち悪いと思ってしまうこともありましたが、このような地道な研究努力が医療の進歩に貢献していることを感じました。



次にダイワ化成工業タイランド (DAT) を訪問しました。ダイワ化成は日本でも有名な企業の一つで、トヨタなどの自動車メーカーから部品を受注・生産する企業です。その会社では、狭いスペースでいかにいろいろな種類の機械を導入して様々な部品を作るか、どうやったら効率化することが出来るかを常に社員全員で共有していることを知りました。特に効率化について努力を邁進しており、日頃の私の実生活にも組み込むことが出来ないかと思案することが出来ました。



タイでの行き先として最後に、メガバンナーショッピングモールへ行きました。“メガ” とつくだけあり、本当に天井の高さからなにかとても大きかったです。外観はまるで工場と錯覚してしまうような大きさでした。私はこの時点でほとんどお土産の買い物を済ませていたので、お店をまわって見ただけでした。ここがタイ最後の訪問先だと考えるときに、時の流れの速さを痛感しました。またタイに来たいと心の底から思いました。

ここからは空港へ向かい、出国手続き・搭乗手続きを終え無事日本へ帰ることが出来ました。この7日間を支えてくださったすべての周りの皆さんに感謝しています。ありがとうございました。

タイで発見したこと・気づいたこと

- ・ タイの方はどこへ行ってもどんなときでも本当に優しい。

タイへ入国したときから出国するときまで常に感じていました。タイの良いところを聞かれたら真っ先にこのことを紹介します。

- ・ 基本的に混んでいない一般道はない。

バンコク市内はいつでもものすごい渋滞に見舞われています。ホストファミリーの方も、タイの中でも深刻な社会問題であるとおっしゃっていました。

- ・ トイレの男女の色が逆のところがある。

間違えそうになりました。

- ・ 生活の様々なところに仏教が影響している。

- ・ オレンジジュースがものすごく甘い。

- ・ 料理を残すことは失礼にあたらぬ。

本当に甘かったです。

タイの英語

『タイで使われている英語』について気づきを増やす目標」を掲げたので、少しになりますますが述べたいと思います。

まず、タイの公用語はタイ語です。ですからもちろんすべてのタイ人が英語を話すことが出来るわけではありません。ですから英語ができればタイで過ごせるかといえば一概にそうとは言えないと私は思います。そして、タイ語は日本語と比べて独特なイントネーション、抑揚や発音に大きな違いがあります。その違いがタイ英語にもとても大きく影響が現れていると思いました。この違いは、日本で聞き慣れている英語を聞くように耳を傾けるだけでは英語を聞き取ることが出来なくさせます。

1週間という短い期間だったので、タイ語を理解出来ているはずもないのですが、発音に関しては聞いていて以下の特徴があったと私は思います。

- ・伸ばす単語が多く、特に語尾に顕著にその影響が現れる。
- ・`t`の発音がやたらと強い。

これらのタイ語の特徴がそのままタイ英語にも現れています。例えば、today はトゥデイと発音しますが、タイではトゥデューイ↑（文字で表すのが非常に難しい）となり語尾がすごく伸びて上がります。他にも t 絡みの発音は基本的に違います。think は[θiŋk]と th を無声音で発音しますが、タイでは[tɪŋk]と、th ではなく thi でティと発音します。これは日本人がよく sink と発音してしまうのと同じ原理で、[θ]の発音がタイにないことから起こっていると私は考えました。

このように国によって同じ英語を話していても、その国特有のアクセントなどについて思いを巡らせるのも一つ外国に行ったときの楽しみだと思えます。

最後に

このような素晴らしい機会を与えてくださった愛知県やタイ・バンコクの皆さん、ホストファミリーやすべて関わった人たちにお礼を申し上げたいと共に、自分自身も今回の体験や知識を生かして国際的なことに広く活躍出来る人材になりたいと思います。また、タイは本当に親日国で国民全員がとても優しい国でした。以前はタイに対しては「仏教国」「コメの生産地」という社会的な知識しかありませんでしたが、実際に行くことで学べる知識が多くあることに驚きました。外国のことを学ぶときには、出来るなら実際に外国に赴くのが一番の勉強方法であると確信しました。

またこのような機会があれば進んで参加し、タイだけでなくいろいろな国についてもっと深く知ってみたいと感じました。

I want to thank all the people who have supported me.
私を支えてくださったすべての人々に感謝を申し上げます。

愛知県高校生訪問団バンコク派遣事業

Aichi – Bangkok Exchange Program 2018

常滑高校 山本 野乃華

空港に到着した時からタイの方々が、私たちをととても温かく迎えてくださってすごくうれしかったです。スワンナプーム国際空港は、日本とはまた違った雰囲気が漂っていて、外国に来たことを感じさせました。

<タイの歴史と文化>

1日目に、サイアムニラミットと言うショーを見に行きました。目の前の大きなステージにはたくさんの仕掛けがあり、ショーを通してタイの歴史と文化を学ぶことができました。また、ショーの劇場の周りにはタイの昔の村が再現してありました。タイの歴史や文化を目で見て、肌で感じる事が出来る場所でした。世界史を選択している私にとって、とても興味深い施設でした。



2日目には、ワット・プラ・ケオに行きました。ワット・プラ・ケオは、王堂の守護寺院として建てられた寺で、タイで最も美しい寺院だと言われています。別名エメラルド寺院と呼ばれています。敷地の周囲は白い外壁で囲まれていて、敷地内にはたくさんの煌びやかな建物がならんでいました。建物は、屋根のてっぺんが尖っているのが特徴的でした。寺院には、日本ではあまり見られない立っている姿の仏像が多くありました。



<ホームステイ>

私がホームステイをしたところは、バンコクから車で1時間半程離れた場所でした。ホームステイの1日目は、バンコクの街に連れて行ってもらいました。最初は週末だけ屋台が営業している市場、チャトチャック・ウィークエンド・マーケットにいきました。そこには、迷路のようにたくさんの屋台が並んでいました。マンゴーやココナッツなどのタイの名物を生かしたのものや、ゾウやプルメリアなどをかたどった石鹸などがいろいろなものも並んでいました。次に、地下鉄に乗って市場からサイアムスクエアに行きました。タイの地下鉄はMRTと言い、駅のホームは自動ドアが並んでおり電車が来ると開く仕組みになっています。ホームからの転落事故防止が完璧で、日本にはないシステムだと思いました。サイアムスクエアにあるサイアムパラゴンと言う大きなショッピングモールに行きました。そこにあるレストランでお昼に食べたパッタイがおいしかったです。パッタイとは米から作られた麺を使った焼きそばでエビともやしなどが入っていて、日本人の私でも食べやすい味でとても気に入りました。



2日目は、まず、朝から托鉢をしました。今まで一度もやったことがなかったのですが、タイはお坊さんが身近にいるからこそ、近所で朝からこんなことが出来るのだと思いまし



た。その後、水上マーケットに行きました。船乗り場には、たくさんのお店が並んでいて賑わっていました。船に乗ると水面にはハスの花がたくさん浮いていました。途中にラン科の花を栽培している温室がありそこには日本で見たことがない種類の花がたくさん咲いていました。船から降りたところに仏像がありお線香とろうそくを買って礼拝しました。その時、お線香と一緒に渡された紙切れに本物の金箔があり目の前の仏像に張り付けました。日本では中々できないことでした。短い時間ではありましたが、日本人の見ず知らずの私を温かく受け入れて下さったことにとっても感謝をしています。

<マッタヨム・ワットスッタラーム高校訪問>

学校に到着した時から、沢山の生徒や先生方が私たちを温かく迎えてくれました。初めは灯籠を作りました。タイは仏教の国なので、灯籠流しをやるそうです。バナナの木の一部分を土台にしてペアの子に手伝ってもらいながら作業を進めました。バナナの葉で飾りを作り、花や蝋燭、線香で飾り付けをしました。次に、タイの伝統的な踊りとムエタイを披露してくれました。タイの踊りは、華やかな衣装が特徴的です。指先までしっかりと伸ばして踊ることがポイントで簡単そうに見えましたが実際にやってみると難しかったです。ムエタイは、今まで一度も見たことがなかったのですごくいい機会でした。最後に行った折り紙は、英語で伝えるのは少し大変でしたが完成したときはペアの子も、私も達成感がありました。同い年のタイの高校生とかかわることができ、貴重な時間でした。



<タイの食文化>

私は今まであまりタイ料理を食べたことがありませんでしたが、沢山の素敵な食べ物に出会いました。まずは、エビです。タイではたくさんの料理に使われていて、滞在中によく食べました。身が日本のものよりも分厚く、美味しかったです。タイではエビが出汁などに使われていて日本とはまた、違った料理も楽しめました。ロティという屋台のクレープも美味しかったです。ホームステイの時に屋台に連れて行ってもらいました。ロティは2種類あり、グリーンカレーを付けて食べるパイのようなものと、綿菓子のような餡を包んで食べるものがあります。タブティムクロープは冷たいスイーツで、ココナッツミルクの中に砕いた氷とピンク色のクワイ、タピオカが入っています。ココナッツミルクの甘さが程よく暑いタイにはぴったりです。他にも、タイには珍しい果物がたくさんあり驚きました。ロンガンは、見た目は小さなジャガイモのようですが中身はライチのようでした。ホームステイ中にドリアンも食べました。臭いイメージがあったのですが私が食べたものはあまり臭くありませんでした。種類によるそうです。私は、嫌いな食べ物がないのでこの機会に珍しいタイの食べ物に挑戦しようと思っていました。日本にはない食文化を通してタイ



の文化に触れることができました。

<最後に>

私がタイで一番感じたことは、「多様性とは何か」と言うことです。まず、タイに到着して驚いたことはタイにはいろんな顔立ちの人たちがいることです。一見、観光客のように見えましたが、みんなタイ語で会話をしていました。不思議に思ったのでバンコクの職員の方

方に聞きました。そこで私は、タイは陸つながりの国であるためで民族の出入りがあることを学びました。当たり前のことかもしれませんが、島国に住む私たちにはないことだと思いました。だから、タイの人々は受け入れることに慣れているのかもしれないと思いました。それは、私たちを温かく迎え入れてくれる姿から感じられました。

また、タイにはたくさんの日本の企業が進出しています。私はタイに来る前まではこんなに日本に馴染みのある店や、商品が並んでいることを知りませんでした。タイでたくさんの日本の商品が売れているのは、タイの人たちが日本を信頼しているからです。すごく親日国家であることを感じました。たくさんの国々との関わり持ち、様々なものを吸収していると感じました。日本人もどこか見習うところがあるのではないかとも思いました。タイは、私たちの日本が、海外の目線からどのように見えるのか、学ぶことができる国です。

日本が海外からどのように見えるのか学んだ今、日本のことをより多くの人に伝えたいと改めて思いました。そして、タイの人々のようにいろいろなものを受け入れることを忘れずにいたいです。



Aichi Bangkok High School Student Exchange Program 2018

愛知県立 豊田北高等学校

小林 梨紗

Day 1

私はバンコクに到着したときにはまだ海外に来た！という実感が湧いてきませんでした。その日はすぐにサイアムニラミットに行きました。ゾウを間近で見たり、迫力がすごいタイの有名なショーを見たりなどタイの歴史を感じることが出来た時間でした。



Day 2

この日はまずエメラルド寺院に行きました。建物を見たとき、私が今まで見た建物の中で一番豪華で魅了されました。次に、サイアム博物館に行きました。バンコクの高校生に案内してもらい、タイの文化について学ぶことができました。最後に、表敬訪問に行きました。私たちが案内された部屋はとても豪華な所で緊張感がありました。そこでは、初めてタイ語を使っての自己紹介に挑戦しました。笑顔でうなずいてくれて嬉しかったです。



Day 3

マッタヨム・ワットスッタラーム高校では、校門から大勢の生徒たちが歓迎してくれました。

部屋に入るとタイの伝統踊りを披露してもらい、その後は、バディーと一緒にタイダンスやムエタイ、手芸作りなどの授業体験をしました。最後に、私たちからも「折り紙」を教えてあげ、お互いの文化を知ることができた貴重な体験となりました。



この日の夜は、ホストファミリーとの顔合わせとなる「歓迎夕食会」が行われました。初めはすごく緊張していましたが、話していくうちにホームステイへの楽しみが膨らみました。

Day 4

ホームステイ1日目の午前は市場に行きました。

タイならではの食べ物がたくさん売っていて、色々買ってもらいました。

次に、ホームステイ先の友達の家に行きました。

私の大好きなトマトを食べさせてもらえて嬉しかったです。

その後、ホームステイ先の家の庭をバイクで散策しました。庭には何種類もの果物の木がたくさんあったり、池が3つもあってすごく驚きました。

午後からは、ボートに乗って寺院へ行きました。

ここでは、多くの人がお祈りをしていることが印象に残っています。

その後ショッピングセンターに行ったり、夕食を食べて過ごしました。タイの料理は全体的に量が多いなと感じました。



Day 5

この日は電車に乗り、バンコクへ向かいました。

その後は昼食を食べ、ショッピングを楽しみました。

タイの電車では窓にガラスがなく、開放感が感じられました。

そのため扇風機しかなく、とても暑かったです。

また、バンコクまで1時間半と聞いていましたが、実際倍近くかかってしまいました。

その点日本の電車は、時間が守られていてきっちりしているなど思いました。

ホームステイ先の家では、外で食事をしたり、団らん場所が外にあったり、トイレとお風呂が外にあったりなど私の身近にはないような生活が経験でき、とてもよい経験になりました。

その中でも冷蔵庫までもが外にあったのは驚きました。

私のホストファミリーは「日本大好き」と言ってくれ、何度も旅行に来ているぐらいです。

写真を見せてもらいながら、英語でたくさん話をしました。

なので、私が持って行ったプレゼントはとても気に入ってもらえてすごく嬉しかったです。

ホストファミリーからたくさんのプレゼントをもらったり、お別れのときは悲しんでくれたり、

2日間という短い間だったけど、本当に親切にもらい、とても充実した時間を過ごすことができました。



Day 6

この日はまずナワミンタラーティラート大学に行きました。

実際に何種類もの細胞観察をしたり、治療の練習に使う道具を見たりすることができて、看護師に興味のある私にとって良い思い出となりました。

次に、大和化成工業タイランドに行きました。

最新の技術を見せて頂いたり、タイで働く日本の方との交流では大変な事もあるがその分やりがいを感じる事が多いという事を教えて頂き、改めて海外で働く事はすごい事だなと思いました。



Lastly

タイは日本に比べ交通量が多く、バイクの2、3人乗りが多く見られました。

信号機にはカウントダウン表示が付いていて驚きました。

私は今回の派遣を通して、タイの文化を学ぶとともに日本の文化を伝えることができました。

言語が異なる中で一緒に生活するのはとても大変な事だなと改めて感じました。

ですが、タイの方々が優しく笑顔で接してくれるおかげで、英語を使って楽しく会話することができ、とても嬉しかったです。

英語の大切さが分かったし、これからも必要な言語になってくると思うのでこれからもっと力を付けていかなければいけないと思いました。

たくさんの方々に支えられ、とても貴重な経験をする事ができました。

この経験をこれからの生活に活かしていけたらいいなと思っています。

派遣メンバー、ホストファミリー、バディーなどたくさんの方々に出会えて本当に良かったです！

ありがとうございました。



愛知県高校生バンコク都派遣事業報告書

愛知県立西尾高等学校 恒川隼

1日目

一日目はサイアムニラミットに行き、タイの4つの地域『北部』『南部』『東北部』『中部』それぞれの風景を再現したエリアを散策したり、タイの歴史や文化を題材にしたショーを見たりしました。そういう経験を通じて授業や教科書では知り得なかったタイの事を知れたので、とても有意義な時間を過ごせたと思います。



2日目

二日目の午前中はエメラルド寺院訪問をしました。そこで見た多くの建物は日本のものとは違い、煌びやかな外見をしていました。寺院ひとつ取ってもこれほどの違いがあるのかと感心しました。午後にはバンコク都庁に表敬訪問しました。とても緊張しましたがタイ語も間違えずに言えたので安心しました。



3日目

三日目の午前中はマッタヨム高校に行き、現地の高校生たちと交流しました。灯籠作りやムエタイなど様々な体験ができてとても新鮮でした。また、他の学生と一緒に折り紙を現地の学生に教えたのですが、「折り紙はタイでもメジャー」と言って、自分より綺麗に早く折る姿を見てとても驚きました。夜にはホストファミリーと初めて会って会食をしました。緊張からか多くを話すことはできなかったけどホストファミリーにとっても優しくしていただきホームステイがとても楽しみになりました。



4日目

四日目はホストブラザーと彼の友達にショッピングモールやお寺、マーケットに連れて行ってもらいました。いままで経験したことの無いたくさんの料理や商品を試すことができたのでとても楽しかったです。また夜には空港の近くのレストランでホストファミリー全員とご飯を食べました。色々なタイ料理が出てきましたが、僕が一番気に入ったのはトムヤムクンでした。



5日目

五日目はホストブラザーに頼んで、地元のスーパーマーケットに連れて行ってもらいました。そこで目についたのは日本の商品の多さです。僕自身もお土産として日本のお菓子を持っていきましたが、そのほとんどがタイ語に翻訳されて商品棚に並んでいて、なかには日本語表記の物までありました。ブラザーいわく日本語の商品はタイ語の商品より売れやすいそうです。日本語が一種のブランドと化しているのを聞いてとても驚きました。



6日目

この日は、「ナワミンタラーティラート大学」を訪問しました。歓迎式典の後校内に移動して研究や実習の一部を見せてもらいました。初めて見るものばかりでとてもわくわくしました。午後からは大和化成タイランドさんの工場を見学しました。ほとんど日本の工場と同じということでしたが、現地の文化を尊重するということからタイの工場オリジナルの行事もいくつかあるそうです。



最後に

今回は初のタイということで出発前は不安半分、期待半分という感じでしたが、派遣事業を通してタイのことが大好きになりました。また今まではタイの事を全然知りませんでしたが、現地に行ったことで多くの事を知ることができました。英語に関しても自分はまだまだだなと実感できて英語に関する意識を正し、これからも毎日勉強しようと思います。

今回の派遣事業では日本人、タイ人問わず本当に多くの人に支えられました。その一人一人に改めて感謝したいと思います。今回のタイ派遣は自分の将来を決めるうえで大事な機会になりました。この事業に参加できたことにとっても感謝しています。ありがとうございました。

愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業報告書

愛知県立刈谷北高校 澤口茉弥

～ホームステイ～

私のホストファミリーのご夫婦は、私に家族の様に接してくれて、タイの観光地や有名なところへたくさん連れて行ってくれました。

サンフラン象園では、人生で初めて象に乗りました。ずっと楽しみにしていたので、とても興奮しました。ダムヌンサドゥアック水上マーケットでは、ボートに乗ったまま商品を見たり買ったりする光景やボートの上で食べ物を焼いて売る光景に驚きました。その奥にあるココナッツファームに行き、ココナッツから砂糖を作る行程を見ました。味見をさせてもらいましたが、さとうきびから作った砂糖とは違う風味でとても美味しかったです。



夜には、アンパワー水上市場へモーターボートでいきました。暗闇に市場の電飾がとても綺麗でした。午後六時になると、皆動きを止めて直立して国歌斉唱をしていました。タイでは王室に敬意を表する風習があり、国に対する愛情の深さを感じました。

また、仏教のお坊さんに食べ物や花を差し上げる托鉢をしました。日本とは、違う仏教の在り方に感服しました。



二日目の朝にはメークロン市場に行きました。並んでいる店の間のギリギリを電車が通過するのが有名で、それを見た時とても驚きました。この市場は最近「タラート・ロム・フップ」(傘閉じ市場)と呼ばれています。

そして、私のホストファミリーが住んでいるラーチャブリー県の特産品である水瓶の店に行きました。昔の人たちは水瓶に雨水を溜めて食器洗いや洗濯をしていたそうです。雨水を溜めるような大きな水瓶から、インテリア用の小さい水瓶まであり、描いてある模様も竜や象など様々でとても綺麗でした。



最後にはチャウチャック市場へ行きました。

この市場はタイではとても有名で、観光客にとっても人気がある観光スポットの一つです。

1500 店以上が出店しており、安くて質の良い衣類、美容製品、食器、雑貨などが一度に見ることができます。

～マッタヨム・ワットスッターラーム～

私たちは滞在三日目にマッタヨム・ワットスッターラーム高校を訪問しました。校門から入口まで並んだたくさんの生徒さんが、賑やかな音楽と拍手で私たちを歓迎してくれました。そして、タイのダンスを三種類ほど見せていただきました。メイクも衣装も華やかでとてもきれいでした。また、灯籠流し際に流す「クラトン」と呼ばれる飾りを作ったり、日本の莫産のような「スア」という織物作りをしたり、ムエタイやタイダンスの体験などを通して、タイの高校生との交流を深めることができました。

私たちも高校生のバディの子たちに折り紙を教えてあげました。

鶴や手裏剣など色んな種類の折り紙を折ってあげると、とても驚いていました。そして、バディの子とプレゼントの交換をしました。日本製のお土産をあげると、とても喜んでくれて私も嬉しかったです。

～まとめ～

私は今回の派遣事業でタイの文化をたくさん知ることができました。

日本とは違う文化に驚きましたが、世界に対する自分の視野が広がったような気がしました。

「微笑みの国」と言われるように、タイの国の人たちは優しい笑顔で私たちと接してくれました。ホストファミリーや高校のバディの子に数えきれないほど助けってもらって、すごく感謝しています。

私にとって初めて海外渡航で、このタイという国に来て本当によかったです。

ホームステイや海外でのショッピングなど、初めてのことで戸惑ってばかりでしたが、私の人生でとても良い経験になりました。



愛知県・バンコク都 高校生交流事業

2018年8月1日～8月7日

県立安城東高等学校 黒田 梨華

1日目・8月1日(水)

〈飛行機でタイのスワンナプーム国際空港へ〉



〈サイアムニラミット〉

ショー仕立てでタイの文化を紹介する総合施設





広場の奥には、タイの四つの地方の風景を再現した村々がありました。ショーが始まるまでの時間を、タイの文化を学びながら楽しく過ごせました。

ショーは、ステージの規模も大きく大迫力でした。タイの伝統や神話を知ることができました。大きな舞台に川が流れたり、ゾウが舞台に登場しただけでなく客席の通路を通った時はとても驚きました。

2日目・8月2日(木)

〈エメラルド寺院〉

広い敷地の中に、いくつもの建造物がありました。建造物には、精巧な装飾がほどこされていて、とても美しいです。



〈表敬訪問〉

バンコク都バンルー副事務次官を表敬訪問しました。

みんなでタイ語の挨拶をしたり、お土産をもらったりしました。



〈博物館〉

楽しくタイの歴史や文化を学ぶ事ができました。



〈チャオプラヤ川クルーズ〉

皆で船の甲板にでて、クルーズを楽しみました。



〈アジアティーク・ザ・リバー・フロント訪問〉

ここでは皆で夕食をとりました。



その後は散策をしました。

タイらしいものを扱っている店が数多く立ち並んでいました。

3日目・8月3日(金)

〈マッタヨム・ワットスターラーム高校訪問〉

盛大な歓迎を受けてとても驚きました。



現地の高校生と話したり、文化体験を一緒にするのはとても楽しかったです。



〈サイアムスクエア散策〉

いろいろな商業施設が展開されていました。

ショッピングでは各々好きなものが買えて大満足でした。

〈歓迎夕食会、ホストファミリーとの面会〉

ホストファミリーとの面会はみんな楽しみな気持ち半分、不安半分と言う感じでした。しかし、夕食会ですぐに打ち解け楽しくおしゃべりしている人が多かったです。

この日は夕食会后、ホストファミリー宅へいきました。

4日目・8月4日(土)

この日はホストファミリーと寺院へいたり、船で都外へ出かけたり、テレビ局へ行ったり……1日色々な場所にお出かけしました。





5日目・8月5日(日)

この日はお昼までホームステイ宅でゆっくりして、午後にはホテル近くのデパートでホストファミリーと買い物をしました。

その後、ホテルに着くとホストファミリーとの別れ。3日間楽しかった分、とても寂しかったです。

その後ほぼ皆無事にホテルに集合でき夕食へいきました。この時、皆各々のホームステイの時の話で持ちきりでした。

6日目・8月6日(月)

〈ナワミンタラーティラート大学訪問〉

現地の大学生の方に案内してもらい、大学内を見て周りまわりました。



〈大和化成タイランド(プラチンブリ工場)訪問〉

現地で働く方々に、タイで働くにあたってよくあること、大変な事など色々な事を聞きました。



7日目・8月7日(火)

〈スワンナプーム国際空港出発〉



〈帰国〉

愛知県・バンコク都 高校生交流事業

豊橋東高等学校 2年 堤 柚葉

【派遣1日目】

今回の派遣メンバーと会うのは2回目という事もあり、緊張の抜けないまま飛行機に搭乗しました。

スワンナプーム国際空港からバスでショッピングモールに向かうときに、沢山の国旗と黄色い旗を見ました。後に柴田さんに伺ったところ、黄色い旗は故プミポン国王の旗だそうです。また、街中では同じような青い旗も見ました。こちらは故プミポン国王の、奥様の旗だそうです。タイでは母の日が近かった事もあり、奥様の旗もあったそうです。写真は、後にスーパーマーケットで撮ったものです。



タイに着いて最初に行ったショッピングモールには、多くの日本食のお店がありました。コンビニエンスストアのファミリーマート、牛丼チェーン店の吉野家、和食レストランの大戸屋などがありました。また、にわか日本食屋さんのようなお店も沢山あり、一緒に見ていた仲間たちとおもしろい店探しをしてしまう程でした。

マクドナルドは、世界各国に展開しているファストフード店として有名です。宗教によって食べられないものは違いますから、世界中メニューが違うことは知っていました。しかし、ロナルド・マクドナルドまでも違う事は知らず、この像を見たときは思わず写真を撮ってしまいました。

ショッピングモールではいまいち価格帯がつかめず殆ど買い物をしませんでした。

その後、1日目のメインであるサイアムニラミットに行きました。ここでは、1日目の夕食、パフォーマンス鑑賞、タイ村等の自由散策をしました。夕食では、バンコク都の職員の方と近い席に座ったこともあり「パッタイがおいしいから食べてみな」と教えてくれました。辛いかどうか心配でしたが、美味しかったです。タイ村散策では、昔な



がらの方法で蚕の繭から絹を紡ぐ姿を見ました。タイのタイシルクは中国のものよりも丈夫と聞いていたので興味があり、思わず見入ってしまいました。パフォーマンス鑑賞は、



「どうせ普通のショーだろう」という先入観がありました。しかし、煌びやかな衣装や大きな舞台装置、本物の象やほかの動物も出てくるなど大迫力で想像よりもとても素晴らしいものでした。写真はパフォーマンスに出てきた象です。

パフォーマンス直前、故プミポン国王のプロモーション動画が流れ、その後国歌斉唱をしました。日本の映画館ならばコマーシャルが流れるタイミングでしたので、何事かと思いました。街の中に多くある国旗や今回のプロモーション動画から、タイ国民の国王や王室に対する敬意の大きさを目にすることができました。

【派遣 2 日目】

まず、ワット・プラ・ケオ(エメラルド寺院)と王宮訪問をしました。

タイの寺院は日本と違い煌びやかです。しかしその煌びやかさがけして騒がしさを感じさせないのが不思議でした。エメラルド寺院という別名の通り、ここにはエメラルド色の仏様がいました。季節によって服装が違い、今は雨季という事で雨季の格好をしておられました。観光地という事もあり、案内して下さった方がとても上手に英語を話しておられました。観光が栄えるところでは、やはり、多くの言語を話せる方がいらっしゃるのだなと実感しました。写真は、仏舎利です。仏陀の遺骨が納められているようですが、観光地となった今ではお釈迦さまもゆっくり眠れないだろうと思いました。写真に写っている階段のすぐ下に、水瓶があり、そこには一輪のハスが咲いておりました。芥川龍之介著の蜘蛛の糸が始まりそうなきれいな花でした。



ワット・プラ・ケオをでて、サイアム博物館へ行きました。博物館は、『タイ人らしさとは何か』をテーマに様々な方面からタイ人を分析していく形となっています。私が一番興味を持ったのは、タイ人の身の回りの食べ物や商品、テレビコマーシャルやおもちゃを取り上げた部屋です。ただ観光に来ただけでは知ることができないようなタイ人の生活風景などが多数展示されていたからです。

昼食のために場所を移動し、川沿いの小さなお店が並ぶ所で散策しました。川沿いなのでクルーズ船を沢山見る事が出来ました。

バンコク都庁に行き、表敬を行いました。都知事には会えませんでした。みんな頑張ってタイ語であいさつをしました。

アジアティークに行くためにチャオプラヤ川クルーズをしました。今回の派遣がバンコク都からの招待という形故かもしれませんが、警察の所有物のような、赤色灯の灯せる船に乗りました(灯しませんでしたが)。すれ違う観光用船に乗る人たちに二度見されました。出港して少しすると、船外に出て風を浴びながら川を下りました。川から見える風景について仲間と話したり、これから行くアジアティークについて話したりと仲間たちともとても



仲良くなれました。

アジアティークでは、まず日本町のようなところに行って夕食を食べました。タイ人の方にしゃぶしゃぶの食べ方を教えてもらいました、知っているものでした(笑)。

「しゃぶ」というのが海外では動詞として扱われていたこ

とに驚きました。

夕食後、自由に買い物となりました。人と一緒にいないと迷子になってしまいそうな程、所狭しと店が並んでいました。私はお土産を買うためにひとりで沢山の店をまわりました。最初に行ったお店の店員のおじさんが分かりやすく説明してくださったので楽しく買い物を始めることができました。自分も相手も慣れない英語で話すので、なんとか相手に伝えようと努力しました。相手に伝わったときに感じる快感が何にも代え難く心地よいので、アジアティークでの買い物はとても楽しい思い出になりました。

このころから、英語表記の、看板やレストランのメニューを見ると安心するようになりました。

【派遣3日目】

朝からマッタヨム・ワットスッターラーム高校へ行きました。高校では、灯籠のようなものを作ったり、タイダンスやタイボクシングをしたり、畳を編ませてもらったりしまし



た。また、私たちの出し物で折り紙教室を実施したりしました。今回交流した高校生は、



訪問した高校の中でも特に日本語専攻クラスの子たちでした。なので英語はあまり得意でない子が多く、また日本語も習っている途中でした。私は特別タイ語が話せるわけはないので、ペアの子と会話をする術が殆ど無くなってしまい困りました。私は今まで英語が魔法道具のようにどこでも誰にでも通じると思っていたので少し悲しくなりました。タイ人の先生に通訳をしていただくなどして折り紙教室を成し遂げまし

た。ペアの子が(折り紙で)作りたいと言ったものを教えてあげ、臨機応変に対応できたのでよかったです。最後に一緒に作ったハートの折り紙に名前を片仮名で書いて渡したところ、とても喜んでくれました。

夕食の時にホストファミリーと会いました。とても優しいお母さんだったのでなんだか安心しました。ホテルから家までが距離があり、道中はずっと寝てしまいました。タイは冷房効き過ぎ国なので、車の中も寒かったです。ホームステイ先では、ひとり部屋が与えられました。とても広いひとり部屋で、ホテルの時には居たルームメイトもいないので寂しかったです。

【派遣4日目】

朝ごはんの後、日本から持ってきたお土産を渡しました。聞いていた家族構成と少し違うというハプニングもありましたが、無事に渡し終えました。朝ごはんは、カウ・トゥムというスープご飯を食べました。ホテルの朝食と違い、タイ人になれた気がしました。朝食後タイドレスを着させてもらいました。ホストマザーがぼっちりお化粧品までしてくれて、沢山写真を撮ってもらいました。写真を見ては何度も「スワーウィ(タイ語で美しいの意味)」と言ってくれました。



しまつてあったタイドレスを着せてくれるまで、私はホストシスターたちに折り紙を教えました。船は特に生活に馴染みがあるらしく喜んでくれました。ホームステイ先の家のシャワールームにはヤモリが住み着いているらしく、毎日見まし

た。また、タイに蚊は少ないですがハエが多かったです。ホテルがあった街は朝から交通渋滞が多く騒がしい町でしたが、家のあった町は鳥の囀りで目覚める程長閑な町でした。

お昼から水上マーケットに行きました。水上と言われましたが、正しくは「川辺」でした。現地のタイ人も多く利用するマーケットで、お菓子などをたくさん買いました。タイ人は甘いものが大好きなので、持ち歩くドリンクもとても甘かったり、お砂糖がふんだんに使われたおかしが多く売っていました。このマーケットで昼食をとりましたが、タイ人の言う「辛くない」だけは信用できないと思いました。



夕食は焼き肉でした。タイではうどんが人気だったり、しゃぶしゃぶのチェーン店があったりと日本食の人気度がうかがえました。

タイ人の子供は、家庭内でも外でもよく働きます。写真に写っている子は7歳ですが、私の飲用水を部屋に運んでくれたり、出先では荷物を持ってくれました。とても重い荷物と分かっていたので私が「持つよ？」と言うのですが「ノーノーノー！」

という風に頑張ってくれました。

タイは母の日が近かったこともあり、夜にはナイトフェスティバルがやっていました。日本の夜店とは少し違い、殆どがゲームで食べ物の屋台は少なかったです。その中にもたこ焼きの屋台を見つけ、日本人としてなんだか嬉しかったです。ナイトフェスティバルは寺院の敷地内でやっているらしいのですが、どこの屋台もマイクを使って客を呼ぶので騒がしかったです。写真にある屋台のお姉さんが優しく、サービスをたくさんしてくれましたが結局景品ゲットはできませんでした。



【派遣5日目】

朝ごはんを食べるために家のそばの屋台へ行きました。タイ人は時間にルーズなので、のんびり朝ごはんを食べてのんびり庭先でアヒル達(アヒルを飼っているご家庭です)を眺

めてという朝でした。お昼に、ハスで有名な観光地に行きました。ドローンを使って上空から写真を撮たくさん撮ってくれるところでした。船頭のおじさんがポーズを指示してくれるのでそれに従ったのですが、木製の年季のはいった船だったので揺れが激しくこわかったです。タイは熱心な仏教国なので、ハスが重要視されていました。



写真はハスをモチーフにしたスイーツです。ピンク色の食用花びらをお皿にし、中にアーモンドや小エビ、レモンと蜜をかけて食べます。自分の中で、ホームステイ期間中は甘いものを多く食べていた印象がありました。しかしよく考えたら辛いものか甘いものしかない場所だったので甘いものしか食べなかったのだと気がきました。タイ人は常に何かを食べています。この日も、昼食をとったのにおやつにピザを食べに行き大食いで驚きました。ピザ屋さんのそばには日本のスーパーマーケットであるマックス

バリュがありスナック菓子などが安かったです。ピザ屋さんで初めてタイバーツの仕組みを教えてもらいました。タイには募金用の貨幣があることを知りました。

ホームステイ初日は寂しくて仲間に会いたいと思いましたが、最後はホストファミリーとの別れが寂しかったです。

この日の夜に、ホームステイ先から持ってきたフルーツでフルーツパーティーをした時みんなに会えて安心しました。

【派遣 6 日目】

ホームステイ中は起床時間が遅かったので早起きが苦痛です。

長かったホテルでの生活に別れを告げ、ナワミンタラーティラート大学へ向かいました。

移動時間は寝るという癖がついてしまい、渋滞に巻き込まれたのも気付きませんでした。

概要説明を聞きタイ語で 2 度目の自己紹介をした後、大学病院の見学をしました。

概要説明の時、大学説明の動画を見ました。英語で流れてくるものだと思いますみんな待ち構えていましたが、思いがけず日本語が流れてきたので、みんな「おお～」と聞こえた日本語に感心していてもしろかったです。

双眼顕微鏡が並ぶ部屋では、おそらく、細菌などの説明がされました。書いてあったのがタイ語と英語の専門用語でいまいち分かりませんでした。次に研究室から場所を移してスキルラボへ行きました。体の一部の実寸大模型や練習用 AED セットなどがありました。ナ

ワミンタラーティラート大学は、東南アジアで一番最先端な医療施設を目指しているそうです。

続いて大和化成タイランド、プラチンブリ工場へ行きました。日本人に会い新鮮でした。昼食に和食が用意されていて、帰国より一歩早く日本を感じました。

プラチンブリ工場は 24 時間動いていると聞き驚きました。それだけ働ける人がいるという事です。

大和化成の工場の近くには、Honda やアイシンなどの工場がありました。大和化成がタイに進出した理由はトヨタ自動車の工場がタイへ進出したからだそうです。

最後に、メガバンナーショッピングセンターへ行きました。ホストマザーが、「メガは(物価が)高い！」と繰り返し言っていました、確かに高いと思いました。最終的に買いものは BigC が殆どでした。タイの募金箱はとても大きいです。最後に、もう買い物はしないという時になって貨幣は募金してきましたが、「こんなに大きな募金箱を作って、さて、お金を入れる人はこんなにいるのか」と不思議に思いました。



【派遣 7 日目】

帰国

飛行機の中ではあまり寝れず日 1 週間ほど体調が戻りませんでした(笑)

今回の派遣では、自分ひとりで全てやることはできないという事、助け合いの大切さを感じました。高校訪問で折り紙を教えた際も、山口先生が「名前を書いてあげたら？」と提案してくださったりしました。ホストファミリーは、タイパーツの仕組みが分かっていた私の不足分を払った上でお金の仕組み(募金用貨幣)を教えてくださいました。逆に私も仲間が、「言ってることが少し理解できていないかな？」という時には説明したりもしました。仲間が私に説明してくれた時もありました。

【次にタイに行く人への情報】

- ・折り紙をやるなら先に完成品を作っておき、どれを作りたいか聞く。手裏剣を説明するだけでも一苦勞でした、というか伝わらなかった。
- ・タイの冷房は舐めてはいけません。必ず上着を手元に置いておくべき！（ホストファミリーの車の中も注意）
- ・フリーWi-Fiは公共の場所に多いがパスワードが必要でかなり大変そうだった。私は空港でイモトのWi-Fiを借りていったのであまり問題ではなかった。
- ・蚊よけは不要かと思った。蚊が少ない代わりに蠅が多い。
- ・アイスクリーム頭痛(冷たいものを食べた時に後頭部のへんが痛くなるやつ)はタイ人に馴染みがないらしく、ものすごく心配された。
- ・ホテルのコンセントの形がA型と言われていたが実際はBF型だった。変換機は持っていたほうが安心。日中はインターネットも使えないので機内モードにしている事が多く、バッテリーは長持ちした。

愛知県・バンコク都 高校生交流事業 報告書

御津高校 阿部 汐里

Day1 『タイ到着・サイアムニラミット』

・約6時間の渡航を終え、スワンナプーム国際空港に到着しました。
そして、サイアムニラミットへ向かい、パフォーマンス鑑賞をしました。
タイの伝統的なパフォーマンスを見て、疲れを忘れるほど楽しむことができました。



Day2 『エメラルド寺院・王宮訪問・バンコク都知事表敬訪問』

・エメラルド寺院は、とてもきれいで感動しました。
天気も良かったので太陽の光で建物が輝いていて、さらに美しく見えました。
また、現地の高校生が同行してくれていたのだからたくさんコミュニケーションをとる事が出来て楽しかったです。



・バンコク都知事表敬訪問はとても緊張しました。ですがタイのみなさんは優しく、すぐにリラックスすることができました。
自己紹介もなんとかタイ語ですることができました。



Day3 『マッタヨム・ワットスッタラーム高校訪問』

・最初から最後まで歓迎してくれました。
バディの子と一緒にタイダンス、ロイカトーンやタイボクシング、折り紙をしました。
短い時間でしたが楽しかったし、別れの時には涙を流してくれたので、とても心の優しい人たちだなと思いました。
英語の通じない子もいて、大変だったけれど、コミュニケーションがとれた時はうれしかったです。
タイ文化をたくさん経験できました。



Day4 Day5 『ホームステイ』

・タイ派遣の中で一番思い出に残っています。ホストファミリーとの面会の時は緊張で頭が真っ白になりましたが、たくさん話しかけてくれて、すぐに打ち解けることができました。



・水上マーケット、サンデーマーケットに連れて行ってもらいました。日本にはない食べ物、商品がたくさんあって、とても楽しかったです。私が日本人だとわかると、日本語で話しかけてくれる方もいました。

また、お寺でのお祈りが本格的で仏教信仰が日本より強いなと感じました。



・タイのスイーツ、食べ物もたくさん食べました。スイーツはココナツ系のものが多かったですが、日本では食べたことのない味が多くて新鮮でした。

右の写真はボローイというタイスイーツです。タピオカのような感じでとてもおいしかったです。

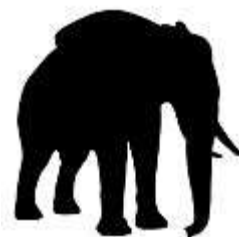
食べ物は辛いものが多かったですが、麺類はどれもおいしかったです。



Day6 『ナワミンタラーティラート大学訪問・大和化成タイランド訪問』

大学では施設の見学をさせてもらえて、とても勉強になりました。

大和化成タイランドでは、タイに住んでいる日本人の方たちにたくさんお話を聞くことができタイの良さ、日本との違いなどを実感することができました。



まとめ

とても濃い1週間でした。

タイの文化を直接見て、たくさんの方とコミュニケーションを取って、様々なことを学びました。この経験をこれからの生活に生かしていきたいです。



「愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業」参加者アンケート

この度は「愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業」にご参加いただき、ありがとうございました。今後の参考とするため、アンケートにご協力ください。

1. どうして今回の派遣事業に参加しようと思いましたか？チェックしてください。

- (1) 国際交流に興味があるから (12) ※複数可
- (2) タイに興味があるから (4)
- (3) 英語力を向上させるため (8)
- (4) 家族や学校の先生に勧められたから (3)
- (5) その他 ()

2. それぞれのプログラムの感想を記入してください。

また、特に印象に残ったもの3つに○印をつけてください。

感 想	○印
(1) バンコク都庁 (表敬訪問) <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶で緊張してしまいましたが、副事務次官の方がとても優しくかったです。 ・少し緊張しましたが、つたないながらも、タイ語で挨拶できたのでよかったです。 ・タイ語での自己紹介で、ポム→男性、ディチャン→女性、の中、女子の数名が両方使ってしまいましたが、バンコク都の方々も笑って過ごしてくれました。 ・普通に観光で行ったら入れないようなところで特別な体験ができたと思うのでよかったです。 ・とても緊張しましたが、タイ語で簡単な自己紹介ができて、いい経験となりました。 ・とても緊張しましたが、なかなかできない体験が出来てよかったです。 ・滅多にすることのできない貴重な機会になってよかったです。 ・日本で言うと小池百合子さんに御挨拶をする事と同じくらい貴重な事であるので本当にお呼びしていただけて嬉しかったです。 ・バンコク都庁に入った時緊張したけど、簡単なあいさつをした時笑顔でうなずいてくれて嬉しかったです。 ・とても緊張しました。 	4
(2) 高校生との交流事業 (エメラルド寺院・王宮、サイアム博物館など) <ul style="list-style-type: none"> ・エメラルド寺院や王宮は非常に煌びやかで、タイの国風に影響を与えていると感じました。サイアム博物館はタイ人が日常で見ている風景をわかりやすく説明してくれて、国民の生活をより深く知ることが出来ました。 ・日本語でタイ人の方と話すのは新鮮で良かったです。 ・タイのきらびやかな建物や、歴史など、たくさん見ることができて、とても勉強になりました。 	5

<ul style="list-style-type: none"> ・寺院はとても輝いていて綺麗でした。博物館ではタイの文化を深く知れたので面白かったです。 ・日本にはない華やかな建築物を見ることができ、こんなものもあるのかと関心を持ってました。 ・日本では中々見られないタイの伝統的な建物を見ることができて良かったです。高校生の皆さんと一緒にサイアム博物館を見学できたので英語で会話するいい機会にもなりました。 ・買い物の時に話したりできて楽しかったです。 ・タイのお寺は日本のとは違い派手で見えてとても楽しかったです。また博物館ではタイの歴史のことについて展示してあったのでとても興味深かったです。 ・ずっと興味があったエメラルド寺院やタイの歴史が詳しく知れて、もっとタイに近づけた気がしました。 ・とても綺麗な装飾が施された建造物が美しかったです。 	
<p>(3) ワットスッターラーム高校訪問</p>	9
<ul style="list-style-type: none"> ・最初はすごく緊張していましたが花輪をかけてくれた元気な女性が校長先生だとわかった時はすごく活気に溢れている学校だと感じました。温かく迎えて頂けて嬉しかったです。 ・日本の授業とは違った授業を楽しむことができ、バディとも仲良くなれてよかったです。 ・私のバディを含めたバンコクの高校生が温かく迎えてくれてすごく嬉しかったです。日本語で話しかけてくれたり移動の際にはずっと連れ添ってもらったりと、とても短い時間でしたが、仲良くなれて良かったです。また日本語クラスの子にお願いされて、日本とタイの共通点、相違点をインタビューされました。タイの学生さんはとっても日本のことが好きなんだなあと感じました。日本の文化も世界で広まっていることを改めて実感しました。 ・短時間ではありましたが、タイの生徒達と一緒に活動することは楽しかったし、ためにもなりました。 ・タイのダンスやムエタイなどの伝統的なことを教えていただき、嬉しかったです。また、バディの子たちとすごく仲良くなれて、別れがとても寂しかったです。 ・大歓迎に驚きました。案内してくれた子達と仲良く慣れたので、是非連絡を取り続けたいと思います。 ・バディの高校生が殆ど英語を話せない状況だったので、コミュニケーションを取るのが難しかったです。折り紙でハートを作りたいと言ってくれたので、多少相手の気持ちに添えたと思います。 ・短い間だったけれど最後には泣いてお別れしてくれる子もいて優しい人が多いなと思いました。 ・タイのダンスを見たり、ボクシング、折り紙をしたりと、とても楽しい時間を過ごすことができました。また、友達がたくさんできて、嬉しかったです。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・タイのダンスやムエタイなどは現地へ行ってもなかなか出来ないことなので楽しかったです。タイの友達もできたので嬉しかったです。 ・高校生のみなさんが本当に優しく、タイ人の性格の良さを感じました。 	
<p>(4) ホームステイ</p>	13
<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーはみんなとても優しく、私と本当の家族のように接してくれたので、本当に嬉しかったです。また水上マーケットなど、色々なところに連れて行ってくれました。楽しかったです。 ・タイの人の普段の生活を体験できてよかったです。日本人とタイの人の生活習慣の違いや部屋の作りの違いなどを知ることができました。 ・個人的な目標として、タイで使われている英語について知るというものを達成できたと思います。タイらしい、という場所や建築物を見ることができました。 ・私は必要最低限の会話と少し食べ物の名前をタイ語で言える程度でした。しかし皆さん英語で私に接してくれてお互いすごく頑張りました。食事の会話だけ少し内容が理解できるようになったのがすごく嬉しかったです。タイの文化を感じ、触れることができました。 ・様々な場所に連れてってもらったり、たくさんお土産をもらったり一番の思い出になりました。 ・ホストファミリーと観光に行ったり、夕食を食べたりするのを通してタイの色々な事を知れたりホストファミリーと仲良くなることができ嬉しかったです。 ・ホストファミリーの方々がとても優しく、タイでしかできないことをたくさんして、教えてもらいました。私たちの家族だと言ってくれたことが何より嬉しかったです。 ・一番楽しみにしていたプログラムであり、一番不安に思っていたプログラムでもありました。タイ語はまったく喋れないし、英語もそこまで流暢とは言えないので、会話がぎこちない部分がありましたが、ホストファミリーが優しく話しかけてくれたので、すごく安心しました。いろんなどころに連れてってもらってとてもいい時間になりました。プレゼントももらっちゃいました。また会いに行きたいです。 ・始めはとても緊張しました。しかし、とても優しく、話かけてくれたので徐々に緊張が溶け、楽しく話や食事が出来るようになったので、とても嬉しかったです。 ・夕食会のあとホストファミリーの家で、今までは同室の子がいたが今日から1人だ…と思い少し寂しかったです。土曜日は水上マーケットに行ったり、朝食もタイの一般的な家庭のご飯でした。日曜日はハスの池で写真を撮りました。初日は一人が寂しかったが、ホストファミリーとの別れはそれより寂しかったです。 ・一番苦労したけれど一番嬉しかったです。一番タイ文化を感じる事が出来たかなと思います。 	

<p>(5) ナワミンタラーティラート大学訪問</p>	<p>1</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・看護学部だけでもたくさんの種類があって、日本とは違う細やかな構成に驚きました。 ・タイの大学の雰囲気を知れて、よかったですと思います。 ・地域密着型の大学病院だと分かりました。最先端の医療機関であり続けようという気持ちがすごく伝わってきました。ただ、私は「血」が得意ではないので、スキルラボは少し怖かったです。 ・あっという間だったけれど見学もできて楽しかったです。 ・医学のことなど、たくさんのことを学ぶことができました。私は理科が好きなので、興味深かったです。 ・日本より沢山の患者さんがいることを感じました。 ・大学が福祉社会貢献を実現するための教育を行っていることがわかった。 ・国王が名前を付けた偉大な学校だと聞いてすごく驚きました。ただ、患者さんを診るだけではなくタイの様々な問題を見つけ課題を掲げ、国民を守る病院、大学として機能していることにとっても感心しました。 ・練習する場所などを見せてもらい、どんな物があるか知ることができ、良かったです。 ・日本の病院とタイの病院の対比ができたので良かったです。 	
<p>(6) Daiwa Kasei Thailand 訪問</p>	<p>2</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・日本ではない国で仕事をしている人の実際の言葉を聞いてよかったです。 ・社会貢献事業や、仕事を効率化するための取り組みなどを知ることができて、今後の生活にもなにか組み込めるものはないかと思案することができました。 ・日本人の目線からタイの人達の様子を聞くことが出来たのがよかったです。また、どのようにして日本の企業が海外で活躍しているのか見ることができ楽しかったです。 ・海外で働く日本の方の話を知るという貴重な経験ができてよかったです。 ・内外にたくさんの日本企業が進出していることは知っていたが、中を見学したのは初めてのことでおもしろかったです。 ・私の母も車の部品を作る職場で働いていて、私は小さい頃から工場見学をしてきたので、母の職場とは違う工場を見学できて嬉しかったです。 ・初めての自動車関係の工場見学でとても楽しかったです。現地で働く日本人の方々の話も聞いたのはよかったですと思います。 ・日本の愛知の企業がこんなにタイで活躍していることを知らなかったです。タイの工場での「起立、礼」の文化や、食事の時の脱帽の文化を取り入れるのは面白いし、それを取り入れたくなるのもまた日本人だなと思いました。 ・質疑応答ではタイでの生活のことなどたくさん知ることができてよかったです。 	

<p>(7) 市内視察（サイアムニラミットなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は世界史を選択しているのですごくタイで歴史を学ぶことが出来たのが嬉しかったです。日本で言うと劇団四季のような素晴らしいショーを見ることができよかったです。 ・タイの伝統や文化を知ることが出来て良かったです。 ・サイアムニラミットで見た劇はとても凄くて終始圧倒されっぱなしでした。 ・タイらしいダンスや民族衣装を見ることができて、楽しかったです。 ・本当に水が降ってきたりしたので驚きました。装飾されたゾウを実際に見ることができ嬉しかったです。 ・タイ市内の発展や観光地化を感じました。 ・サイアムニラミットは、ショーも、広場の奥にある場所でタイの村々の風景についてなども、どちらも楽しく学べたので良かったです。 ・サイアムニラミットでは先ず、始まる前のコマーシャルみたいなのが国王の功績で驚きました。愛国心が非常に強いことを改めて感じました。ショーは、ステージチェンジが多く、また象なども登場して見応えがありました。 <p>街中を歩いてみると、至る所に、国旗、黄色の旗、青い旗の3種類の旗を見ました。黄色い旗と青い旗は何だったのかが気になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とは違うところがたくさんあって楽しかったです。 	<p>5</p>
<p>(8) その他（もしあれば）</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・バンコクの職員の皆さんが沢山の事を用意して下さっていたのが本当に有難いです。とてもハードなスケジュール全てに同行して下さって本当に感謝しています。ありがとうございました。 	

3. 滞在期間中、困ったことや不便に感じたことがあれば、記入してください。

- ・現地のご飯が自分に合いませんでした。
- ・ホストファミリーと滞在中、シャワーが水しか出ませんでした(しかし良い体験にはなった)。
- ・トイレが不衛生な所が数カ所あって気になりました。ホテルのシャワーが使いにくかったです。
- ・WiFi が使えないので LINE の連絡を見ることができませんでした。
- ・ワットスッターラーム高校での後半の通訳者が少し気になりました。異文化交流を目的として行っているのに片方に会話の意味が通じていないという状況はあまり良くないと思います。
- ・ホテルのクーラーが効きすぎで寒く、調整しても温かくなりませんでした。
- ・もう少しホテルにチェックインの時間を早くして欲しかったです。次の日の準備や入浴などをすると寝ることの出来る時間がとても少なく、疲れがなかなか取れなかったです。
- ・高校では英語が通じない生徒がいてコミュニケーションが少し難しかったです。

4. このような派遣事業を来年以降も実施することを検討していますが、どのようなプログラムがあると良いと思いますか？チェックしてください（いくつでも）。

- (1) 博物館や美術館などの訪問 (4)
- (2) 伝統芸能の鑑賞・体験 (11)
- (3) 県進出企業の訪問 (5)
- (4) 高校生との交流 (12)
- (5) ホームステイ (13)
- (6) その他 (3) ・ワットポーが見たかった
 - ・マーケットに行く
 - ・大学の体験(注射など)

5. 事前説明会について改善点があれば自由に記入して下さい。

例：内容、回数、知事表敬など

- ・しおりの持ち物リストの欄に高校のバディのお菓子も書いておいた方がいいと思います。
- ・LINE等のツールがあるので回数は一回で十分だったと思います。
- ・もう1回ぐらいタイ語の勉強や出し物の練習をする会があっても良いと思います。
- ・事前に生徒がもう少し話し合い、仲良くなれる機会を設けたほうが良いと思いました。
例えば、今回の事前説明会は長机だったから端の人のことが殆ど見えない状況にありました。

6. 全体について、感想を記入してください。

- ・とてもハードなスケジュールでしたが1日1日がとても濃い時間を過ごすことが出来ました。高校訪問で出会った子達、ホストファミリーの方達と過ごした時間はとても貴重でした。もっと英語頑張らなきゃ、と強く実感することもできました。すごくすごく楽しかったです！！本当にあっという間でした！派遣のメンバーもみんな優しく最近知り合ったばかりだとは思えないぐらいでした！仲良くなることができ嬉しいです！本当にありがとうございました！！
- ・出発前は、日本とはかなり異なる文化に不安を感じていましたが(特にご飯)、非常に快適で、日本より優れている点がたくさんありました。バンコク市内は名古屋よりものすごく発展していることに驚きました。
大きな問題もなく無事に派遣事業を終えることができ、すべての方々に感謝しています。ありがとうございました。
- ・この交流事業に参加できて本当によかったと思います。ありがとうございました。
- ・タイで色々な経験が出来て、タイの文化に触れることが出来て楽しかったです。
- ・今回このような機会をいただけてとても良い経験をさせてもらえました。自分の英語がどれだけ外国の人に伝わるのか、タイの文化はどんなのかよく分かりました。

ホームステイではとても良いホストファミリーと出会えて、充実した2泊3日が過ぎました。今でもホストファミリーとメールをしておりこの関係が途絶えないようにしたいと思っています。

タイの人達はほんとに優しく、すぐ気遣いしてくれるしとても助かりました。充実した1週間を送れることが出来てよかったです。

- ・今回の派遣を通して、色々分からない事や大変な事がありましたが、現地の人や柴田さん、近藤さん、山口先生がサポートしてくれたおかげで1日1日がとても充実していました。タイについても関心が高まり、もう一度タイに行きたくなったし、一緒に行ったメンバーや現地の高校生やホストファミリーと仲を深める事が出来てとても嬉しいです。またこの様な事業があったら是非参加したいし、友達にも勧めたいと思いました。
 - ・最初は不安が多かったけれどとても楽しかったです。タイのいいところをたくさん感じる事が出来ました。とてもいい経験になったと思います。
- ・私はこの1週間で一番感じたことは多国籍企業とは何か、グローバル化とは何か自分の肌で感じたことです。これだけ多くの企業がタイに出店している事に驚きました。そして、タイが親日国であるからこそこのような景色が目の前に広がっているのだと思いました。タイに行った事で日本がどのように思われているのか、日本人として海外の目線から学ぶ事のできる機会でした。
- ・タイに行ったことで、英語で自分の思っていることを伝える難しさを改めて実感しました。高校訪問やホームステイでは、タイの方の学校生活や私生活を知ることができ、日本との違う点を見つけることが出来ました！今回タイに行けてほんとに良かったです！！
- ・全体的にホテルへの到着時間が遅いのが気になりました。
- ・今回の派遣事業で、私は気になっていたタイのことについて様々な事を知ることができました。この経験は私の人生の岐路になり、これからの進路がガラリと変わるきっかけになると思います。タイの文化を楽しく教えてくれた高校生たち、親しく町を案内してくれた高校生たちやツアーガイドの方々、緊張していた私に優しく接してくれたホストファミリー、皆さんに感謝したいです。
- ・とても楽しく過ごすことが出来ました。タイの街並みや、人々、タイで働く人の声などを、見たり聞いたり出来てよかったです。また、このような機会があれば是非参加したいと思いました。
- ・忙しい1週間ではあったが、ホームステイや高校生交流、企業訪問など充実していました。タイ料理は辛いという印象なので辛いものが苦手な私からしたら心配でした。しかし、レストランなども日本人用にと配慮してくれたおかげで食事に困る事は殆どありませんでした。ただしホームステイ期間は例外。貴重な経験を多くさせていただき、とてもいい経験になりました。